

## EPSON EAN-128 バーコードフォントの使い方

通常バーコードを作成するには、データキャラクタ(バーコードに登録する文字)のほかに様々なコードやキャラクタを指定したり、OCR-B\* フォント(バーコード下部の文字)を指定する必要があります。EPSON バーコードフォントは、これらのバーコードやキャラクタを自動的に設定し、各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルを簡単に作成、印刷することができるフォントです。

\* OCR-B: 光学的文字認識に用いる目的で開発されJISX9001 に規定された書体の名称。

### EPSON EAN-128バーコードフォント

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	チェックデジット*	備考
EAN128	EPSON EAN128	あり	あり	EAN128 のバーコードを作成します。 サポートOS: Windows 2000/XP/Server 2003 のみ
	EPSON EAN128_AI91	あり	あり	EAN128 のバーコードを作成します。 サポートOS: Windows 2000/XP/Server 2003 のみ

\*チェックデジット:読み取りの正確性を保つために、所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

### 注意事項

トナーの濃度や紙質によっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れない場合があります。  
お使いの読み取り機で認識テストしてからご利用いただくことをお勧めします。

### プリンタドライバの設定について

バーコードを印刷するには、プリンタドライバで次のように設定してください。

項目	設定値
色	モノクロ(カラー機種のみ)
割り付け	チェックマークなし(OFF)
拡大/縮小	チェックマークなし(OFF)
印刷品質	高品質 もしくは きれい
トナーセーブ	チェックマークなし(OFF)

## 文字の装飾/ 配置について

- ・文字の装飾(ボールド/ イタリック/ アンダーライン等)、網掛けは行わないでください。
- ・背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- ・文字の回転を行う場合、回転角度は90 度、180 度、270 度以外は指定しないでください。
- ・文字間隔の変更は行わないでください。
- ・アプリケーションソフトが文字間隔の自動調整機能や、スペース(空白)部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- ・文字の縦あるいは横方向のみを拡大/ 縮小しないでください。
- ・アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。  
(例 < = > )

## 入力時の注意について

- ・バーコードフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があります、バーコードとして使用できません。
- ・アプリケーションソフトで改行を示すマークの表示/非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお勧めします。
- ・入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。
- ・バーコードのフォントサイズは、本書「各バーコードの概要」の表中に記載されている保証サイズで作成していただくことをお勧めします。保証サイズ以外のサイズで作成した場合、読み取り機で読み取れないことがあります。

## バーコードフォントのインストール

- 1.「EPEAN128.TTF」、「EPE12891.TTF」の2つのファイルを、任意のフォルダに保存してください。
- 2.コントロールパネルより、フォントアイコンをダブルクリックしてください。
- 3.フォントウィンドウの[ファイル]メニューより、[新しいフォントのインストール]を選択してください。
- 4.手順1で保存したフォントファイルを指定し、[OK]ボタンを押してください。

以上で、フォントのインストールは終了です。

## 各バーコードの概要

各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細/ 構成などについては、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

EPSON EAN128	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• EAN128 は、Code128 を流通アプリケーション用シンボルとして規格化されたものです。</li> <li>• EPSON バーコードフォントはコードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わった場合、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。</li> <li>• 入力するデータの属性を示すアプリケーション識別子(AI)は、以下の4種類をサポートします。           <ul style="list-style-type: none"> <li>01:GTIN(グローバルトレードアイテムナンバー)</li> <li>10:パッチ/ロットナンバー</li> <li>17:保証期限日</li> <li>30:数量</li> </ul> </li> <li>• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントはCode128 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。</li> <li>• アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。</li> <li>• 1行に2つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間はTAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。EAN128 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。</li> </ul>	
入力可能なキャラクタ	数字(0 ~ 9)、英文字(A ~ Z) 括弧()は、アプリケーション識別子(AI)を識別するためのみ使用します 英文字は大文字のみサポートします。但しキー入力は小文字で行います
入力するキャラクタの桁数	アプリケーション識別子(AI)により桁数が異なります。 01:4桁「(01)」+13桁「数字」 規格は14桁「数字」ですが、末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは13桁です。 17:4桁「(17)」+6桁「数字」 10:4桁「(10)」+最大20桁「英数字」 30:4桁「(30)」+最大8桁「数字」
キャラクタのサイズ	36pt 以上 保証サイズは36pt、72pt
入力不要	次のものは自動的に挿入/ 設定が行われるため、入力は不要です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 左/ 右クワイエットゾーン</li> <li>• スタート/ ストップキャラクタ</li> </ul>



